

令和4年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立相浦中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-48-2522			氏名	長谷川裕二
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守体制の確立 ・セクハラ、パワハラ行為の根絶 ・コンプライアンスの徹底 ・交通事故防止 ・体罰、暴言の根絶 ・情報セキュリティの徹底 			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・セクハラ担当者を職員の中から1名互選、管理職から1名依頼し担当者を決定した。 ・チェックシートによる確認、県教委発行「セクハラ、パワハラ防止」働きやすい職場づくり及び市教委発行「教職員の不祥事」根絶に向けて等を活用した。 ・校長の学校経営方針説明において、服務規律強化、コンプライアンスの徹底について校長指導を実施した。また、自己チェックシートを活用し、自己を見つめなおす機会を設定した。校務分掌決定に際して、校内服務規律、セクハラ対策委員会の構成を確認した。 ・スクールネット掲示板にテーマと具体的な実践について全職員に連絡し、当事者意識を常に持つよう心掛けさせた。 ・交通事故0を目指し、できるだけ多くの声掛けを行った。今年度も交通事故が2件発生してしまった。 ・翌日が休日以外の酒席は設定しないよう呼びかけを行った。コロナ禍でもあり、学校全体での飲酒の機会はなかった。 ・体罰をおこさない職員間の連携を確認する。言葉を磨くよう呼びかけた。生徒との距離感をしっかり持ち、指導を行うことの大切さを継続的に指導していく必要がある。 ・児童生徒の継続的な指導支援のための引き継ぎガイドラインを活用し、適切な指導支援を確認することで、全職員が共通理解し、個々の教職員の指導力を向上させた。 ・校内研修で情報セキュリティに関する研修を実施した。 ・外部の講師を招聘した研修が実施できなかった。（次年度実施予定） 					
8月	実施テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転の根絶 ・交通事故防止 			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日にお酒が残らないよう量・時間を考えるように呼びかけを行う。 ・時間にゆとりを持って車の運転を行うように呼びかけを行う。 					
12月	実施テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転の根絶 ・交通事故防止 			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒機会がふえることが考えられるので、週末等の職員朝会で「飲酒運転の撲滅」「交通事故防止」を呼びかけた。 ・荒天（雪）時、運転を控えるように呼びかけを行っていたが、衝突事故が発生してしまった。 					
2 服務規律委員会					

委員会名	相浦中学校服務規律委員会		
構 成 員	所属内委員（11名）、外部委員（1名 役職等：PTA 会長 ）		
3 年間を通しての計画の達成状況			
年間を通しての取組状況チェックリスト			
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）			
イ	キ	ク	ケ
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）			
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。			
<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。			
<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。			
<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
資料添付			有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p>	

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。
- ク ファイリングして保存
- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
- ケ 決意表明
- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
- コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。